

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 (中間配当を実施する場合)

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネットホームページURL)	☎0120-782-031 http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。.)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



URL: <http://www.mars-eng.co.jp>

[マースジャーナル]

第41期 中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

Vol.17

MARS Journal



株式会社 マースエンジニアリング
〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL.03-3352-8555(代)
URL:<http://www.mars-eng.co.jp>



株式会社 マースエンジニアリング

節目の40周年に更なる飛躍を



代表取締役社長 松波 明宏

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、依然として二極化が進み、パチンコホールの軒数は減少となりました。また、他業界に比べて消費税増税後も価格を転嫁していないパチンコホールが多く、経営の圧迫によって環境は一層厳しいものとなりました。
このような状況の中で、当社グループは少人数でホール経営ができ、増税にも対応したパーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。)の提案販売を行ってまいりました。他の業種と同様に人材の確保が困難になることや、これから増税対応を行うパチンコホールの更新需要が見込まれることから、パーソナルの導入が今後更に進むものと期待しております。需要の拡大を見込んで販売を推し進め、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの市場シェア第2位を早期に実現させてまいります。

マースグループはアミューズメント関連事業を軸に強固な基盤を築きつつ、自動認識システム関連事業を第2の柱とするべく成長させてまいります。また、ホテル関連事業をはじめ、レストラン経営や新規事業を展開し、更なる事業領域の拡大を図ってまいります。
当社はおかげさまで平成26年9月13日に創業40周年を迎えました。日頃ご支援いただいている株主の皆様への感謝の意を表し、平成27年3月期の中間配当におきましては1株当たり5円の記念配当を実施し、普通配当30円と合わせて1株当たり35円とさせていただきます。
記念すべき期が次のステージに飛躍するためのステップとなるよう全社一丸となって活動してまいります。
株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の業績

当社グループの当中間期(第2四半期連結累計期間)の経営環境は、主要販売先のパチンコ業界においてホール軒数及び参加人口の減少傾向が続くほか、消費税増税後の価格の転嫁が大幅に遅れるなど厳しいものとなっています。
このような状況の中、当社グループでは、開発、製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品を販売するとともに、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努めてまいりました。
この結果、売上高131億95百万円(前年同四半期比2.0%増)、営業利益23億33百万円(同4.5%減)、経常利益25億11百万円(同11.7%減)、四半期純利益15億36百万円(同25.9%減)となりました。

アミューズメント関連事業

パチンコ業界で広く認知されているパーソナルは市場シェアがさらに拡大しました。中でもパチスロ機向け各台計数システム「メダルパーソナル」がパチスロ機人気で販売台数を伸ばし、当社独自技術によるAir紙幣搬送システム「HAYATE疾風」も高い競争力で導入店舗数を増やしました。また、POSシステムのパイオニアである当社グループは、今年全国主要都市7カ所で新型POSシステム等の新製品発表会及び展示会を開催いたしました。
当中間期におけるパーソナルの売上実績は64店舗、当中間期末時点における導入(実稼働)店舗数は累計1,339店舗(市場シェア14.4%)となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は69店舗、導入(実稼働)店舗数は累計2,060店舗(市場シェア22.2%)となりました。
この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、103億37百万円(前年同四半期比4.3%増)、セグメント利益23億33百万円(同3.4%減)となりました。

自動認識システム関連事業

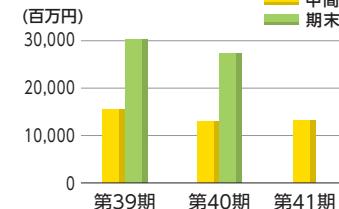
様々なビジネスシーンで活用により成長性が見込まれる同事業

は、子会社の株式会社マーストーケンソリューション主体で新規分野を含め提案販売を進めてまいりましたが、新商品開発の遅れと国内産業の設備投資の遅れにより販売状況は厳しいものとなりました。
この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、23億22百万円(前年同四半期比8.2%減)、セグメント利益1億90百万円(同9.2%増)となりました。

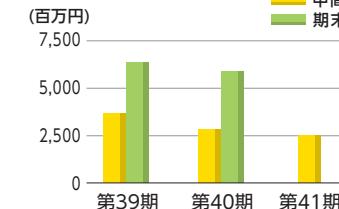
ホテル関連事業

ホテル業界におきましては、国内レジャーは回復の兆しが見受けられ、訪日外国人観光客数も増加傾向にあります。福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に程近い立地と質の高いサービスが評価され、地域で一番の稼働率を維持することができました。静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、認知度の向上に伴ってリピート客が増加いたしました。
今年7月から新規事業の一環として、ホテルサンルート博多内に直営レストラン「海鮮処博多松月亭」、東京銀座にマースガーデンウッド御殿場内で人気のレストラン「鉄板焼銀明翠」がオープンいたしました。
この結果、ホテル関連事業の売上高は、5億35百万円(前年同四半期比6.6%増)、セグメント損失1億93百万円(前年同四半期は1億49百万円のセグメント損失)となりました。

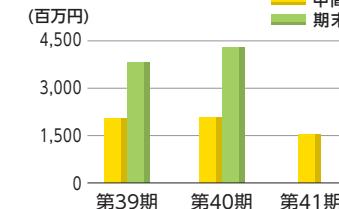
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



全国規模で 新製品発表展示会を開催!



当社では9月3日から26日まで、東京、名古屋、大阪など全国7都市で「新製品発表展示会&マースMSDセミナー」を開催いたしました。

新製品発表展示会では、景品・会員管理のマルチターミナルPOSとして開発した「m8850」や、フルカラーLEDを搭載した新パーソナルランプなどを発表したほか、ホール業務の改善に役立つ

「機種情報自動取得サービス」など独自のサービスも紹介し、マースのトータルシステムが持つ優位性を幅広く訴求しました。

また同時開催したマースMSDセミナーでは、マースが提案する新しい情報提供サービス「マース戦略データ(MSD)」の具体的な活用方法の説明に大変反響が大きく、大盛況のセミナーとなりました。

展示会を各地で 開催しました!



▲東京会場(本社ショールーム)



▲名古屋会場



▲大阪会場



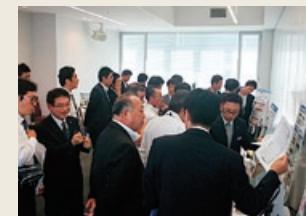
▲福岡会場



▲仙台会場



▲札幌会場



▲岡山会場

新製品!

接客サービスの高度化に貢献する マルチターミナルPOS「m8850」

「m8850」は、「会員カルテ」によって接客もフォローする新しいコンセプトのマルチターミナルPOS。

キーボードを無くし、タッチパネル方式としたことで優れた操作性を実現しています。



景品・会員管理
マルチターミナルPOS「m8850」

特長

- タッチパネルで操作。
- 会員情報を活用したきめ細かなサービス。

新製品!

「ランニング機能」を搭載した 新パーソナルランプ



ベーシックタイプ

7セグ表示器接続タイプ

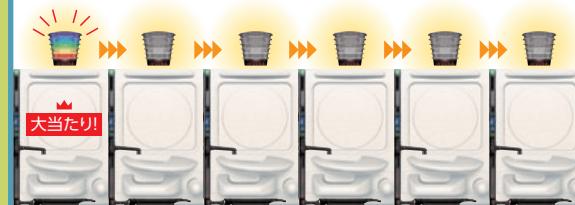
特長

- 「ランニング機能」搭載。
- フルカラーLEDの多彩な発光パリエーション。

フルカラーLEDと新しいレンズカットを採用した新パーソナルランプは、従来型に比べ、発光のパリエーションと輝度が大幅にアップしました。更に消費電力を最大50%削減。エコを意識した製品となっています。

「ランニング機能」とは

島の1台が大当たりすると、島全部のランプが走るように(ランニング)光る機能です。



Topics

MSD セミナー も同時開催。



MSD(マース戦略データ)は、マース機器を導入したホールからビッグデータを収集・分析し、ホールの戦略的経営に役立つ各種指標を提供する情報サービスです。非会員の客数も高精度でカウントします。

パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。



ピーアーク ピークンガーデン様
東京都足立区

首都圏に約40店舗を展開するピーアークホールディングス株式会社様は、業界の常識にとらわれない新しい発想で、お客様の期待に応えるサービスを提供しています。中でも低貸玉営業や全館禁煙の提案は多くの遊技ファンの心を掴み、全国の先駆けとなりました。

同社様のコンセプトがたくさん詰まったピーアーク ピークンガーデン様は、31年間営業してきた店舗を一新し、約1年の工期を経て新しく生まれ変わりました。店内は遊技を楽しむ「プレイガーデン」に「コミュニティガーデン」を併設。無料開放のコミュニティルームやドッグサークル、コンビニなどが設置されている他、自転車の貸出やバスの運行など、遊技をしない方も自由に利用できる施設を提供しています。

今回導入されましたパーソナルPCシステムとメダルパーソナルは台移動のしやすい遊技環境づくりに一役買っています。

ピーアーク ピークンガーデン様のコメント

パーソナルシステムの導入によって、お客様の利便性の向上だけでなく人員配置の見直しができ、生産性が向上しました。また、混雑する閉店間際のお客様の対応時間の短縮化など、顧客満足の向上につながりました。

エリア初となるパチスロコーナーにおけるパーソナルシステムの導入では、メインターゲットとなる若年層のファンから「次世代のスロットコーナーを体験しているようだ」とのお声を多くいただいております。更にパーソナルシステムと連動した会員カードシステムは高いセキュリティを誇り、お客様からも高く評価されています。



JUMBOプラス888様
静岡県浜松市

静岡県浜松市を中心に「JUMBO」の屋号で6店舗を運営するJUMBOグループ様。6店舗目となるJUMBOプラス888様は、グループ最大規模の888台の遊技機が設置され、店名の「プラス888」の由来にもなっています。旗艦店としての役割が期待されている同店は、お客様がリラックスして遊技できる空間づくりを追求した店舗で、パチンココーナーには最新のパーソナル5、パチスロコーナーにはメダルパーソナルを導入し、快適な遊技空間を実現しています。また、店内には浜松市内で初となる禁煙のレストルームやマッサージルームを完備し、至る所にこだわりや工夫が施されています。

他店との差別化を図り、リラックスできる空間づくりにこだわった店内には、女性スタッフがきめの細かいサービスを提供し、多くの地元ファンを魅了しています。

JUMBOプラス888様のコメント

当社は「もっともっとをモットーに」して、立ち止まらず常にチャレンジし続けています。

当店はお客様がリラックスして快適に遊べることをコンセプトに掲げ、遊技をしたことのない方でも入店しやすいようにこだわって快適な空間を創り上げました。

パーソナルの導入で、他店よりも女性スタッフの比率が高くなり、女性ならではのきめ細かい、質の高いサービスを提供できるようになりました。地域の方や遊技ファンとコミュニケーションを図りつつ、地域密着型の店舗として親しみのある店舗、愛される店舗となって地域への貢献を目指してまいります。

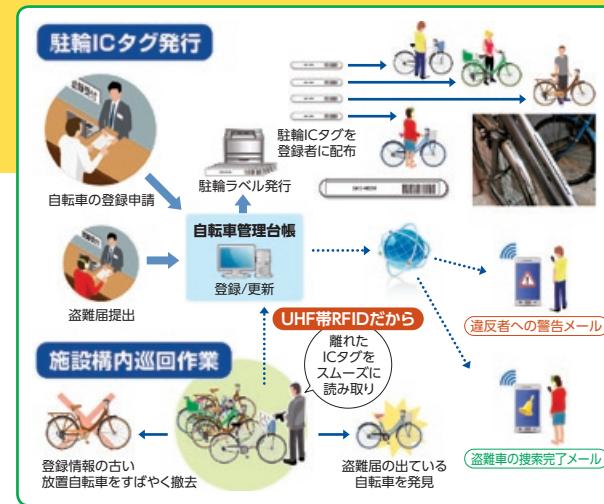
Topics of MARS [トピックス]

トピックス①

「iCycle(アイサイクル)」が自動認識システム大賞「特別賞」を受賞。

今年9月に発表された自動認識システム大賞において、株式会社マースケンソリューションの「iCycle(アイサイクル)不適切駐輪管理システム」が「特別賞」を受賞しました。

このシステムは、東京ドーム55個分の広大なキャンパスに約2万台の自転車やバイクが利用されている筑波大学様に導入されており、巡回時にICタグを一括で読み取り、指定エリア以外への駐輪をした所有者の確認や、卒業生が放棄した自転車や紛失の届出があった自転車の発見などができるシステムです。



「iCycle(アイサイクル)」の仕組み

茨城県警・交通安全協会をはじめ、全国の学校や自治体等から当システムの公共性の高さに幅広い注目が集まっています。

トピックス②

株式会社マースプランニングが福岡と東京にレストランを新規出店!

九州の旬な食材とくつろぎの空間 海鮮処 博多松月亭

ホテルサンルート博多内で初の直営レストラン。朝は和洋バイキングスタイル、お昼からは和食・寿司、中華を中心に、料理長が腕を振るった絶品料理をお楽しみいただけます。野菜や鮮魚などの食材、そしてお酒は九州各地から厳選しました。



極上の料理と最高のおもてなし 鉄板焼 銀明翠GINZA

銀座通り沿い、GINZA GREEN 8階にオープンした「銀明翠(ぎんめいすい)」では、静岡の最高級素材を使用した極上の鉄板料理をご提供します。カウンターのほかに個室、半個室も完備し、接待や記念日の会食に最適です。



Consolidated Financial Statements [中間連結財務諸表]

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間末 平成26年 9月30日現在	前中間連結 会計期間末 平成25年 9月30日現在	前連結 会計年度末 平成26年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	37,467,796	36,783,642	39,693,321
固定資産	22,314,671	22,653,647	22,630,094
有形固定資産	14,139,022	14,452,024	14,267,884
無形固定資産	240,795	283,924	279,683
投資その他の資産	7,934,854	7,917,698	8,082,525
資産合計	59,782,468	59,437,290	62,323,415
負債の部			
流動負債	6,492,631	7,599,375	7,758,081
固定負債	4,483,660	4,592,192	5,016,921
負債合計	10,976,292	12,191,567	12,775,002
純資産の部			
株主資本	47,260,948	46,213,638	47,851,318
その他の包括利益累計額	1,545,228	1,032,084	1,697,093
純資産合計	48,806,176	47,245,722	49,548,412
負債純資産合計	59,782,468	59,437,290	62,323,415

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前中間連結 会計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前連結 会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	13,195,678	12,939,983	27,349,315
売上原価	6,653,274	6,304,770	13,794,701
売上総利益	6,542,403	6,635,212	13,554,613
販売費及び一般管理費	4,208,529	4,191,305	8,271,909
営業利益	2,333,873	2,443,907	5,282,703
営業外収益	195,787	404,981	597,629
営業外費用	18,443	6,160	—
経常利益	2,511,216	2,842,728	5,880,332
特別利益	—	581,345	1,155,399
特別損失	—	—	4,853
税金等調整前中間(当期)純利益	2,511,216	3,424,073	7,030,879
法人税、住民税及び事業税	794,498	1,276,277	2,619,142
法人税等調整額	180,683	75,597	130,381
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	1,536,034	2,072,198	4,281,355
中間(当期)純利益	1,536,034	2,072,198	4,281,355

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前中間連結 会計期間 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前連結 会計年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,329,988	3,656,576	4,291,149
投資活動による キャッシュ・フロー	△329,088	1,184,098	2,497,265
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,267,843	△571,217	△1,141,453
現金及び現金同等物に 係る換算差額	356	△3,399	5,532
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△1,266,587	4,266,057	5,652,494
現金及び現金同等物の 期首残高	22,565,225	16,912,730	16,912,730
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	21,298,637	21,178,787	22,565,225

Non-consolidated Financial Statements [中間単体財務諸表]

中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期末 平成26年 9月30日現在	前中間期末 平成25年 9月30日現在	前事業年度末 平成26年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	23,182,163	21,990,236	24,641,109
固定資産	18,418,353	17,881,522	17,910,486
有形固定資産	3,354,553	3,543,740	3,441,570
無形固定資産	61,043	81,291	74,795
投資その他の資産	15,002,756	14,256,491	14,394,120
資産合計	41,600,517	39,871,758	42,551,595
負債の部			
流動負債	3,215,764	3,221,150	4,001,728
固定負債	1,235,510	856,671	1,269,353
負債合計	4,451,275	4,077,821	5,271,081
純資産の部			
株主資本	35,636,279	34,805,993	35,619,889
評価・換算差額等	1,512,962	987,944	1,660,624
純資産合計	37,149,241	35,793,937	37,280,513
負債純資産合計	41,600,517	39,871,758	42,551,595

中間単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	前中間期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前事業年度 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	9,077,977	8,707,077	19,006,875
売上原価	4,976,163	4,477,412	10,291,954
売上総利益	4,101,813	4,229,664	8,714,921
販売費及び一般管理費	3,059,874	3,055,921	5,995,399
営業利益	1,041,939	1,173,743	2,719,521
営業外収益	1,679,626	1,700,567	1,856,446
営業外費用	18,272	3,637	—
経常利益	2,703,293	2,870,673	4,575,967
特別利益	—	501,448	1,075,502
税引前中間(当期)純利益	2,703,293	3,372,121	5,651,470
法人税、住民税及び事業税	398,648	741,778	1,612,312
法人税等調整額	40,028	△1,204	22,237
中間(当期)純利益	2,264,617	2,631,547	4,016,920

株式の状況

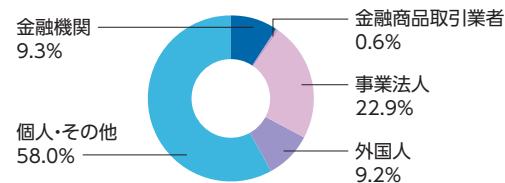
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	8,908名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,693	25.93
松波廣和	680	3.76
松波香代子	680	3.76
松波明宏	680	3.76
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	663	3.66
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	545	3.02
古宮重雄	490	2.71
五味輝雄	450	2.49
永井美香	432	2.39
大矢俊寿	388	2.14

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号 株式会社マースエンジニアリング
(Mars Engineering Corporation)

本社所在地 東京都新宿区新宿一丁目10番7号

設立年月日 昭和49年9月13日

会社の目的

1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売
2. ソフトウェアの開発
3. 電子機器の開発、企画並びに販売
4. 建設工事の請負及び設計・施工・監理
5. ホテルの経営
6. 不動産の賃貸業
7. 損害保険代理店業
8. 前各号に付帯する一切の業務

資本金 7,934,100,000円

就業者数 450名(男412名、女38名)

役員

取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役相談役	松波廣和
取締役	村上浩
取締役	秋山裕和
取締役	佐藤敏昭
常勤監査役	渡邊廣美
社外監査役	小林郁夫
社外監査役	中村勝典

執行役員

常務執行役員営業本部長	秋山裕和
常務執行役員管理本部長	佐藤敏昭
常務執行役員技術開発部長	井出平三郎
執行役員品質保証部長	名取満郎
執行役員営業本部本部長	秋山学
執行役員総務部長	高橋丈治



マース探検にGo!

Stage —5

マースの「POS製品」のあゆみ

パチンコ業界に「景品管理のマース」と、その信頼性と技術が幅広く認知されています。今回は、景品管理システムの基幹である「POS製品」の変遷を特集します。

1980

1号機「大入」

某パチンコホールからの要望で開発した業界初の景品交換POS「大入」は、画期的な製品として大きな話題を呼びました。



1980

2号機



1981

3号機



残玉数、景品玉数、合計玉数などが一目で分かるように、モニター部分が独立した独特のフォルムを形成しています。

1983

PC80

マースがパチンコ関連製品メーカーとして本格的に歩み出すきっかけとなった製品で、ベストセラーとなりました。



1986

CX80

従来の紙テープから磁気カード「見えるカード」へ。磁気カードによる景品交換の時代がスタートしました。



1988

CX8



1993

EX-88

カードによる「会員管理」と「貯玉」を実現した初のシステム。販売台数が伸び、市場シェアは50%近くに上りました。



2000

e8800



2006

m8800

初のタッチパネル採用機種。情報量が増え、見やすさや操作性が格段に上がりました。



2014

m8850

デザインを一新し、オールタッチパネルで操作性が向上。接客サポート機能を搭載しています。



Next Stage

これからもマースの魅力をお伝えしていきます。次は何を紹介しようかな～。お楽しみに!

